

大震災の再建援助を金融庁・金融業界に要請



大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
 TEL 077-525-5232
 TEL 077-521-2775
 FAX 077-525-5232
<http://www.biwa.ne.jp/ffs/>
 E-Mail: ffs@biwa.ne.jp

金融労連第6回定期大会 パワハラ根絶など議論

9月17日から2日間の日程で東京都内において金融労連第6回定期大会が開催され、役員・代議員・オブザーバーなど全国から92人が参加しました。

滋賀銀行従業員組合から本部役員の中島委員長と代議員として小原書記長が参加しました。



「パワハラによるメンタル不全」「原発や震災の被災者支援」の発言が集中

討論では20名の代議員が「パワハラによるメンタル不全」「原発や震災の被災者支援」「争議の訴え」について多く発言されました。

当単組代議員の小原さんは「職場の状況や、定期大会などで出された要望をまとめ銀行に要求し、団体交渉

松木委員長は挨拶のなかで、日本の政治経済の状況や3月11日の東日本大震災から金融労連では物資の支援や義捐金活動、また、被災者の生活・中小零細企業の再建支援の援助を金融庁や金融業界に要請したことなどの取り組みについて述べられました。



また、機関紙コンクールでは5組合が入選し、滋賀銀行従組の機関紙「波紋」と組合ニュース、金融ユニオン滋賀分会の機関紙「さざなみ」が入賞しました。金融労連には深刻な労働相談が多く寄せられています。解決の実現に大きな成果を挙げています。



組織・仲間を拡大し、要求実現・パワハラの根絶などに取り組むことが重要であることが再確認されました。

**従組定期大会
 年金者部会総会に
 ご参加を！**

10月19日(水曜日)
組合定期大会
 午前10時から午後2時
年金者部会総会
 午後2時半より3時半
合同交流会
 午後3時半より5時半

9月18日、大津市民会館において、前進座創立80周年記念公演「夢千代日記」がありました。



「夢千代日記」はNHKドラマ人間模様として、1981年から1984年にかけて放映され、吉永小百合さんがふんする主人公が、体内被爆という十字架を背負いながら、健気に生きていく姿に、悲しき、憧れ、優しさを

感じ、心の奥に残っていました。夢千代さんは、1945年8月6日に広島の下壕で生まれました。地下壕では瀕死の重傷を負ったと聞きながら、息を引き取ったといわれています。夢千代さんは余命数年と言われ、悲しきながらも、被爆者として、広島を命をつないで、行かなければならぬ宿命を背負ったと聞いています。原爆の傷は3世代まで残るといわれています。

(通信・山崎)

職場の声

上司の「一言」に喜び

台風の接近により、急遽早帰りする事になりました。定時に終礼を終え、部屋を退出する際、いつものように何気なく「お先失礼します」と上司に言ったら、「台風やし、気付けて帰りや」と返答がありました。

波紋の声に経過報告

波紋の声に対する途中経過の報告です。

私はかつての上司に「お前の親があほやから、お前のようなあほな奴が生まれたのや」とか「辞めてしまえ」とか「なんで来るのか」とか大



携帯電話の地下更衣室の「圏外解消」の対策ですが「NTTドコモ」と「AU」は現在対策を検討中とのことですが「ソフトバンク」は無理とのことらしいです。

渉を行い3項目のうち2項目を実現した、ことなどについて発言がされました。

機関紙コンクールで「波紋」と組合ニュース、「さざなみ」が入賞